



檜邑きらきらだより



「Chance Challenge Change」
「Colorful is wonderful！」

檜邑小学校 検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/kashimura-es/>

真庭市立檜邑小学校
第41号
令和6年3月8日
校長 山本 信子 発行

大成功！「檜邑きらきらフェスティバル」～3月5日(火)～

今年度、檜邑小学校の子どもたちは、生活科と総合的な学習の一部を『檜邑きらきら学習』として、「檜邑地域をきらきら元気にする」「地域の人、周りの人、自分自身を笑顔にする」ことを目的に1年間学んできました。1・2年生は、檜邑きらきらたんけんたいとして、3年生から6年生は、檜邑きらきらデザイナーとして、活動しました。今回、学習したことを伝え、地域の方とつながる時間を『檜邑きらきらフェスティバル』として開催しました。企画・運営は、檜邑きらきらデザイナーの3年生から6年生です。「檜邑の良さを伝えたい」「来てくれた人と一緒に交流を楽しみたい」という思いをもって、仲間同士力を合わせ、準備を進めてきたフェスティバルです。1・2年生もたんけんたいとして見つけたことを大きな写真ブックにまとめ、写真展会場に展示をしました。

開会時刻が近づくと、続々と地域の方や保護者の方が来てくださいました。受付や案内は、もちろん子どもたちです。「こんにちは」「こちらどうぞ」「お茶をどうぞ」等、自分から挨拶をしたり、手書きの名札を渡したり、お茶の接待をしたりする姿から、やる気が伝わってきました。



会の運営ももちろん子どもたち。全体の様子も見ながら司会をしたり、緊張しながらも言葉を言ったり…。チームごとに分かれて行った自己紹介は、各チームでテーマを決めていたようで、どのチームも和やかで楽しい雰囲気に包まれていました。体育館では、ポッチャと昔遊びを行いました。ポッチャを初めてする地域の方にルールを説明したり、一緒に投げる練習をしたりする姿も見られ、自分たちから声をかけることにチャレンジしていることが伝わってきました。逆に昔遊びのこま回しコーナーでは、地域の方が児童に回し方を教えてくださっていて、そのおかげでこまを回すことができた児童もいました。また、『真庭カルタ』も大人気で、大人も子どもも本気でカルタ取りに臨みました。体育館のあちらこちらで、歓声と笑い声が聞こえ、楽しい時間でした。

その後、パソコンルームに移動し、「もっときらきら輝こう!きらきら写真展」を開催しました。第1回目の写真展では、写真の説明があまりできなかったことや地域の方に質問されたけど答えることができなかったことがふり返りとして出ていて、今回は「自分が見つけたきらきら(写真)の説明や思いをしっかりと伝えること」をめあてにしました。一人一人がお気に入りの1枚について説明した後、質問を受けましたが、子どもたちは、臆することなく自分の思いを言葉で伝えていました。個人のブースでも同じような姿が見られ、1年間の成長を頼もしく感じました。最後に、参加者との感想交流を行い、大拍手の中、会は幕を閉じました。参加してくださる方がいるから、活動も思い切ってできます。参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

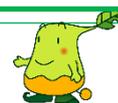
【参加してくださった方の感想】

- ・子どもたちの1年間の取組がフェスティバルの計画や写真展の開催という形で実を結びました。子どもたちはみんな笑顔で自信に満ちていました。1年間の子どもたちの成長を感じました。
- ・年齢関係なく、みんなで楽しめる「ボッチャ」や「昔遊び」と時間を忘れるくらい楽しかったです。みんなの「きらきら」とも素敵な写真がいっぱいでした。一つ一つ説明もきちんとできてすばしかったです。
- ・楽しい時間をありがとうございました。日頃あまり顔を見ない人とのつながりや昔遊びを通して話もでき、笑顔いっぱいのものでした。写真も子どもの素直な目で見た樫邑を感じることができてよかったです。
- ・ボッチャを初めて体験しました。楽しかった。昔遊びが懐かしくて子どもの頃に遊んだ記憶がよみがえりました。ほっこり楽しめました。きらきら写真展で感性豊かな子どもたちの写真が見られてよかったです。

【児童のふり返りより】

- ・総合的な学習で、きらきらフェスティバルにおいてがんばったら、きらきらフェスティバルがせいこうしてよかったです。
- ・いろいろな人がいっぱい楽しかった。樫邑の人とけこう話ができ。じゅんびがぎりぎりだったけどフェスティバルで地域の人が元気になってよかったです。
- ・地域の人たちが笑顔になっていたから（自分も）元気になった。地域の人たちがみんな笑顔で楽しかったと言っていたから樫邑を元気に笑顔にすることができた。
- ・準備がぎりぎりだったけど、本番が成功したから良かったです。きらきらをたくさん発見できた。
- ・みんなが楽しそうだったから、樫邑を元気に笑顔にすることができた。
- ・地域の人といっしょにできて楽しかった。ボッチャで負けてくやしかったけど、楽しかった。

全校児童が「令和の二宮金次郎賞」を受賞



3月4日(月)、JA晴れの国岡山から4名の方が来てくださり、樫邑小学校多目的ホールで、「令和の二宮金次郎賞」の表彰式を行いました。この賞は、農業に興味を持ち、家庭や学校で農業を頑張った児童に贈られる賞です。今年度、樫邑小学校の児童7名は、JA晴れの国岡山真庭女性部KASHIMURAサークルの皆さんとサツマイモの植え付けや収穫、蒟蒻づくりを一緒に行いました。また、しじり体験や和紙製作体験、「わんだぶる」さんにお世話になって、蕎麦の種まき、収穫、石臼挽き体験を行いました。その活動を評価していただき表彰に至りました。表彰式では児童代表の2名が賞状と記念品を受け取りました。そして、一人一人に雑誌「ちゃぐりん」とものさしを、新聞紙で作ったエコバックと共にいただきました。JA晴れの国岡山の皆様、活動にお力添えをくださった皆様、大変ありがとうございました。来年度も農業体験を通してたくさんのことを学びたいと考えています。引き続きよろしくお願いいたします。



賞状を玄関に飾っています。ご来校の際は、ぜひご覧ください。